

# ビッグ・アイアートプロジェクト 2014 佳作入選作品

受賞した永崎千代子さん



タイトル『なし(梨)』



第103号  
発行

〒970-8003  
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地  
TEL (0246) 23-5311  
FAX (0246) 23-5312  
はまぎく荘新聞編集委員会  
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>  
E-mail: [kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp](mailto:kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp)

## 共生共感

所長 志賀道子

### ●紙面紹介●

- 1面 作品  
共生共感  
クリスマス・忘年会  
グループ旅行
- 2面 余暇の日  
研修報告
- 3面 小島保育園との交流会  
九品寺幼稚園との交流会  
芋煮会
- 4面 新職員紹介  
給食会議  
第38回みはま福祉祭inはまなす  
化粧ボランティア  
よろしく願います  
お知らせ  
感謝  
編集後記

はまぎく荘広報誌が発行される十二月は、三日から九日までの『障害者週間』に伴い、「いわき市障害者週間記念事業」が開催されることになっております。いわき地区障がい者福祉連絡協議会がいわき市より委託され、イオンいわき店にて「障がい者作品展」が十二月五日から十二日まで予定で行われます。

『障害者週間』とは、二〇〇四年六月に障害者基本法が改正され、それまで十二月九日を「障害者の日」と定めていた規定を、十二月三日から九日までを「障害者週間」と定める規定へ改められました。

一九八一年が国際障害者年であったことは、四十代以上の人達は知っているとありますが、当時『完全参加と平等』をテーマにシンボルマークまで作られました。十二月九日が『障害

者の日』になった経緯は、一九七五年十二月九日に障害者の権利宣言が国連総会で採択された日であり、一九八一年に国際障害者年推進本部が同日を定めたことにあります。

国民の間に広く障害者の福祉について関心と理解を深め、また障害者が社会・経済・文化などあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的に、従来の「障害者の日」にかわるものとして制定された『障害者週間』は、人格と個性を尊重し合う共生社会を目指しています。

さて、時代の流れによって法律や制度が障害者主体に改められ、障害者への様々な意識啓発に関わる取り組みが展開されています。この『障害者週間』を機会に私たちに課せられている障害者問題について、できることから実行していきましょう。

## クリスマス・忘年会 ～椿山荘にて～



待ちに待ったクリスマス・忘年会。外出着に着替え、わくわくいそいそバスに乗り込む。第一部、根内さんの有り難い「クリスマスのお話」「聖書の言葉」をいただいたあとプレゼント抽選会。第二部は、山崎さんの音頭で「乾杯」！思い出の写真をスクリーンに映し回想しながら会食。事務所・男女棟の余興もスクリーンでゆっくり楽しみました。帰りがけ、雨が降り始めたことを心配して見知らぬご婦人からさしていた傘のプレゼントもあり…心温まるクリスマス・忘年会となりました。



グループ旅行 ～ちよこ足をのびて遠出～

郡山方面

六月十三日、青春歌謡B I G3スペシャルコンサートを観に、郡山市民文化センターに行ってきました。

舟木一夫さん、西郷輝彦さん、三田明さんの懐かしいヒット曲が次々と流れ、利用者さんも昔を思い出しながら口ずさみ、楽しんでいました。



大洗方面

九月二十二日(月)、大洗水族館とイエローポートへ日帰り旅行で行ってきました。

新鮮なお刺身を始め、豪華な昼食を食べた後は、水族館でイルカショーを見学。自由に水槽を見てまわったり、買い物を楽しんだりして楽しみました。



新潟方面

七月二十二日(火)～二十三日(水)、グループ旅行一泊班が実施され、新潟方面に出かけてきました。一日目はマリ

ンピア日本海の迫力あるイルカショー、瀬波温泉の湯にゆっくり入り、日本海の海の幸をいただきました。二日目は、米どころのコメを使った「せんべい」をお土産に、今年の夏を味わいました。



八ワイアンズ

十月二十九日、グループ旅行日帰り班の皆さんがスパリゾート八ワイアンズに行ってきました。

まず食事を楽しんだ後、午後からお待ちかねのフランダースショーを見てきました。外はすっかり秋の景色でしたが会場は真夏の熱気で、迫力のショーを楽しんできました。



余暇の日 ～市内・近場への外出～

小川方面

六月二十六日、余暇の日わくわく班で小川方面に行きました。まず諏訪神社にお参りしお賽銭もして、みなさん何をお祈りしたのでしようね。

次に小玉ダムを見学しました。鬼の絵をバックに記念撮影をしました。

最後にメインの「グリーン&フラワーガーデン」でバーベキューをしました。ステーキや魚介類など、おいしいものがいっぱいあり、お腹いっぱい食べました。他にも植物がたくさんあり散策もしました。



小名浜・塩屋埼

デイクルーズに乗船する予定で小名浜へ向かいましたが、都合が合わず乗れませんでした。しかし、すぐに気持ち切り替えランチタイムとしました。海の幸中心のメニューを選ぶ方々が多く、

でも満足そうな表情が見られました。その後は塩屋埼灯台へ向かい、美空ひばり歌碑の前でみだれ

髪之歌を口ずさみながら記念撮影。ゆったり、のんびり過ごしてきました。



アクアマリンふくしま

七月十日に余暇の日、やすらぎ班で「アクアマリンふくしま」へ見学に行ってきました。

館内ではたくさんのお魚を見ながらゆっくりと見学することができました。

昼食は「いわき・ら・ら・ミュー」に移動し各自ラーメンやうなぎなど好きなものを食べ、みなさん満足して帰ってきました。



平七夕祭

八月七日(木)利用者九名、職員四名で元気に歩いて平

七夕を見学して来ました。夏休み中の子供たちや家族連れでにぎわっており、その人波に圧倒されながらも元気に歩き、かき氷やクレープを食べ、

くじを引いたり、雑貨を買ったりしてとても楽しい一日でした。昼食は、和処ダイニング「暖や」で各々好物のお刺身や煮魚、おそばなどを食べ、満面の笑みが見られました。



遠野方面

十一月十四日、鰻を食べたい！お風呂に入りたい！という希望を叶えるため、遠野にある「坂本屋」へ。色づく木々やのどかな景色を眺めながら、料理に舌鼓を打ち、ゆっくりと過ごすことが出来ました。



### みはま愛護の会 研修旅行

次長 植原明美

十一月十二・十三日にみはま愛護の会の研修旅行が行われました。保護者二十一名と職員十名が参加しました。今回は福島県内の施設を見学し、一日目は社会福祉法人安積保育園の地域生活サポートセンター パツソとはじまりの美術館、二日目は社会福祉法人こころんを見学しました。パツソは利用している皆さんの「今日は〇〇したい」

の支援を重視しております。創作活動に熱心に取り組んでおりその点を見学をさせていただきました。利用者の方が描いた絵がクリップやマグネットになって、それらの活動は猪苗代にある『はじまりの美術館』に繋がりました。泉崎村のこころんは移動販売車で販売を行い、店内は道の駅のようにたくさんさんの農産物があり、利用者の

方が自分の役割をもって生き生きと働いておりました。働いている方の工賃の貢献と保護者の方は沢山の買い物をしておりました。

改めて二か所の施設を見学して二人一人の個性・望むことを見つけ出し、生き生きした表情を見ていきたいと思いました。

宿泊は芦ノ牧温泉で、夜は保護者と職員とでカラオケ・ダンスと楽しいひとときを過ごす事ができ、二日目の会津鉄道では車窓から会津の紅葉を見る事ができ秋を満喫した旅行でした。



### 国立のぞみの園 高齢知的・発達障害者とその支援

支援員 渡邊 由紀

十一月二十六日高崎ギヤラリーコアホールにて、高齢知的・発達障害者とその支援を受講してきました。現在のはまぎく荘で抱えている問題が、他事業所でも同じように問題視されていました。

利用者の方の身体機能の低下、認知機能の低下や病気にかかりやすく、治りにくくなって

自己決定、残存能力の活用と環境を変えず生活を持続していくことなどを原則として、今までの日課・生活スタイルをゆつくりとすること、その利用者さんに『一年後の紅葉より今年の紅葉を見せてあげたい』という、ずっと先の支援を考えるのではなく、今出来る目の前の支援を精一杯行なうことで、健康かつ皆さんの笑顔がずっと続くようなはまぎく荘でありたいと思

いることなど、知的障害者は十年早く年をとっていくというのであれば、五十代から高齢者としての支援が必要となるということ。現実問題、はまぎく荘では平均年齢が五十四才と、まさに高齢知的障害者としての支援にギアチェンジをしていく時期になつてきているということです。

### 小島保育園との交流会

九月にみ



はま体育館で行われた「小島保育園との交流会」に、十名の利用者さんが参加しました。園児たちの可愛らしい動きの一つ一つに笑顔で拍手をして「頑張れ！」と大きな声で応援をしていました。園児たちとペアになりフラフープを持って走る姿は、とても六十歳とは思えない若々しく元気はつらつぶりを見せてくれました。「妖怪ウォッチ」の曲が流れると園児たち以上にノリノリで体を動かし、とても楽しそうでした。競技のお手伝いでカードを持って、素晴らしい鼓笛隊の演奏を真剣に見学したりして、とても素敵な交流会になりました。

### 九品寺幼稚園との交流会

十月三十日、みはま体育館にて毎年楽しみにしている園児との交流会が開かれました。利用者にとっては孫のような園児達の鼓笛演奏に目を細め、九品寺音頭では園児の小さな

手をギョツと握りしめて一緒に踊りを楽しみました。ゲームも大玉転がしやカード合わせを園児に負けずハッスルして盛り上がりました。最後に豚汁を食べたことも楽しい思い出になりました。

来年は節目の二十回目、どんな出会いと楽しみが待っているのでしょうか。

### 芋煮会



十月四日、好天にも恵まれ「芋煮会」が開かれました。今回は、十六家族二十二名の保護者の参加があり大いに賑わいました。利用者の皆さんは久しぶりの保護者との面会でスタンプリリー形式のゲームを楽しみ、作り立ての豚汁と一緒に舌鼓を打って楽しいひと時を過ごすことが出来ました。参加された保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。今後も楽しい交流の場を設けていきたいと思っております。ご協力宜しくお願い致します。

### 給食会議

月に一度、給食会議が行なわれます。  
 「今度のスペシャルランチでは寿司が食べたい」  
 「こんなメニューがあったら良いな」  
 「オレは生野菜がダメなんだ…」  
 十人十色、様々な意見や要望があり、それを少しでも叶える事が出来るように管理栄養士さんに話を聞いてもらおう、大切な場です。しかし、気持ちを口に出せない方もいます。言葉として表現できない方もいます。

そこで登場したのがタブレット！  
 触れるだけでも楽しく、たくさんの画像の中から選ぶことができます。迷って、選ぶことは幸せですよ。現在使用しているのは栄養士さんの私物なので、ぜひ利用者さんの為に購入したいものです。



はまぎく荘で働き始め、まもなく四ヶ月が過ぎようとしています。午前の日中活動・午後の週間活動を日々共に過ごしているうちに、あつという間に時間が過ぎてしまします。利用者さんは一人一人個性豊かで元気いっぱい、いつも笑顔で迎えてくれます。知識不足で戸惑うこともありませんが、向上心を持ち日々勉強で頑張っているように思います。利用者さんが充実した毎日を送れるよう、日々仕事に従事して参ります。どうぞ、宜しくお願い致します。

今までは老人施設に勤めておりました。今回ご縁があり、八月から日中ははまぎく荘で勤めることになりました。今までと違った環境で分からないことも覚えることも、たくさんありますが、利用者さんの笑顔が私のパワーの源になり、多くのことを日々学ばせて頂いています。一人一人の優しさや思いやりなど、それぞれの個性を大切に、一緒に笑顔の絶えない毎日を過ごしていけるよう、私自身努力していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



支援員パート  
石井 浩恵



支援員パート  
佐野 桂

### 第38回みはま福祉祭 in はまなす

九月七日、秋とは思えないほど眩しい太陽の日差しが降り注ぐ中、第三八回みはま福祉祭 in はまなすが開催されました。ステージで行われるアトラクションに大きな拍手を送る人、一緒に踊りだす人、美味しそうに模擬店の食べ物を口いっばい頬張って食べる人、みんな笑顔が見られ楽しんで参加していました。成功の陰には職員

九月七日、秋とは思えないほど眩しい太陽の日差しが降り注ぐ中、第三八回みはま福祉祭 in はまなすが開催されました。ステージで行われるアトラクションに大きな拍手を送る人、一緒に踊りだす人、美味しそうに模擬店の食べ物を口いっばい頬張って食べる人、みんな笑顔が見られ楽しんで参加していました。成功の陰には職員

の頑張りやたくさんの方々のボランティアの方々の協力があつたおかげです。ありがとうございました。来年ははまぎく荘が会場となります。どんな祭になるか乞うご期待！



### 化粧ボランティア

十一月二十七日(木)にボランティア三名による「化粧ボランティア」が行われました。普段できない化粧ができることあって始まる前から楽しみにしていました。自分で化粧水や下地、ファンデーションを塗った後は目元や眉などの細かいところをプロの方にやっていただきました。出来上がりを見せ



### 編集後記

『誰かのことは自分のこと無関心が一番良くない』最近どこかで耳にした言葉です。組織は自分一人では無く、皆が居るから成り立っています。自分はどのような事をしても周囲にできていますか？相手を周りにできていますか？相手の立場になって物事を考える、相手の気持ちを汲み取る、

### お知らせ

はまぎく荘開所当時から入所していただきました大須賀日出子さんが九月二十一日に永眠されました。とても明るく皆の輪の中心にいた大須賀さん。今でもにぎやかな話声が聞こえてきそうです。ご冥福をお祈りいたします。合掌

### ◆感謝◆

永井静代様より、ご寄付を頂きました。  
 ・北関東空調工業株式会社様より、物品を頂きました。ありがとうございます。

### ようこそ願っています

十一月四日よりはまぎく荘入所となりました。どうぞよろしく願います。

根本 京子さん

視野は広く、一歩引いて判断できる冷静さ。日頃から意識して行動したいものです。寒さが身に染みる時期となりました。せっかくある四季の一つですから、それも楽しみながら御自愛ください。広報誌「はまぎく」一〇三号無事に発行となりました。御高覧下さい。(川)